

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【公開番号】特開2001-105691(P2001-105691A)
 【公開日】平成13年4月17日(2001.4.17)
 【出願番号】特願平11-284287
 【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)
G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z
 G 0 6 F 3/12 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】印刷ジョブを分割し、複数の印刷装置で印刷処理させる情報処理装置であって、

前記印刷ジョブを分割して出力するための複数の印刷装置を登録する登録手段と、

前記登録手段により登録された複数の印刷装置で印刷させるべく、前記印刷ジョブを分割し、各印刷装置に分散出力する出力制御手段と、

前記分散出力すべき印刷装置において印刷処理が行えない場合、前記登録手段により登録されている複数の印刷装置の中から前記印刷ジョブを分割して印刷すべき複数の印刷装置の組み合わせを再構築する再構築手段と、

前記再構築手段により再構築されて分散出力された結果に基づき、分散出力レポートを作成する作成手段とを有し、

前記複数の印刷装置における分散出力後、前記作成手段により作成された分散出力レポートをいずれかの印刷装置に出力することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】印刷ジョブを分割し、複数の印刷装置で印刷処理させる情報処理装置であって、

前記印刷ジョブを分割して出力するための複数の印刷装置を登録する登録手段と、前記登録手段により登録された複数の印刷装置で印刷させるべく、前記印刷ジョブを分割し、各印刷装置に対応するプリンタドライバで印刷データを生成する分散データ生成手段とを有し、

前記分散データ生成手段は、各プリンタドライバでオフラインコマンドを付加して印刷データを生成するよう制御することを特徴とする情報処理装置。

【請求項3】前記登録手段により登録されている複数の印刷装置に対応するそれぞれのプリンタドライバで印刷データを生成することを特徴とする請求項1記載の情報処理装置。

【請求項4】すべての印刷装置で印刷処理が行えない場合に、その旨をエラー時に結果レポートを出力すべき印刷装置に出力することを特徴とする請求項1記載の情報処理装置。

【請求項5】オペレーティングシステムから出力されるデータを中間データ形式でスプールしておくスプール手段を更に有し、前記出力制御手段は、前記スプール手段にス

プールされている中間データ形式のデータを取得して印刷データを生成することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 6】 前記登録手段は、分散出力レポートを出力すべき印刷装置を登録することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 7】 分散印刷時には、オフラインコマンドを付加して印刷データを生成することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 8】 前記登録手段により登録された各分割印刷装置に対する印刷ジョブを正常に出力できたかどうかを判定する判定手段を有し、

前記判定手段により各分割印刷装置に対する印刷ジョブを正常に出力できないと判定した場合に、前記作成手段により作成された分散出力レポートをエラー時に結果レポートを出力すべき印刷装置に出力することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 9】 前記出力制御手段により各分割印刷装置に分散出力される印刷ジョブの処理状況を監視して印刷ジョブ処理エラーを検知する検知手段を有し、

前記再構築手段は、前記検知手段による印刷ジョブ処理エラーの検知結果に基づき、前記出力制御手段により各分割印刷装置に分散出力される印刷ジョブを正常出力可能な複数の印刷装置の組み合わせを再構築することを特徴とする請求項 1 記載の印刷制御装置。

【請求項 10】 印刷ジョブを分割し、複数の印刷装置で印刷処理させる情報処理装置におけるデータ処理方法であって、

前記印刷ジョブを分割して出力するための複数の印刷装置を登録する登録工程と、

前記登録工程により登録された複数の印刷装置で印刷させるべく、前記印刷ジョブを分割し、各印刷装置に分散出力する出力制御工程と、

前記分散出力すべき印刷装置において印刷処理が行えない場合、前記登録工程により登録されている複数の印刷装置の中から前記印刷ジョブを分割して印刷すべき複数の印刷装置の組み合わせを再構築する再構築工程と、

前記再構築工程により再構築されて分散出力された結果に基づき、分散出力レポートを作成する作成工程とを有し、

前記複数の印刷装置における分散出力後、前記作成手段により作成された分散出力レポートをいずれかの印刷装置に出力することを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 11】 印刷ジョブを分割し、複数の印刷装置で印刷処理させる情報処理装置におけるデータ処理方法であって、

前記印刷ジョブを分割して出力するための複数の印刷装置を登録する登録工程と、

前記登録工程により登録された複数の印刷装置で印刷させるべく、前記印刷ジョブを分割し、各印刷装置に対応するプリンタドライバで印刷データを生成する分散データ生成工程とを有し、

前記分散データ生成工程は、各プリンタドライバでオフラインコマンドを付加して印刷データを生成するよう制御することを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 12】 前記登録工程により登録されている複数の印刷装置に対応するそれぞれのプリンタドライバで印刷データを生成することを特徴とする請求項 10 または 11 記載のデータ処理方法。

【請求項 13】 すべての印刷装置で印刷処理が行えない場合に、その旨をエラー時に結果レポートを出力すべき印刷装置に出力することを特徴とする請求項 10 または 11 記載のデータ処理方法。

【請求項 14】 オペレーティングシステムから出力されるデータを中間データ形式でスプールしておくスプール工程を更に有し、前記出力制御工程は、前記スプール工程にスプールされている中間データ形式のデータを取得して印刷データを生成することを特徴とする請求項 10 記載のデータ処理方法。

【請求項 15】 前記登録工程は、分散出力レポートを出力すべき印刷装置を登録することを特徴とする請求項 10 または 11 記載のデータ処理方法。

【請求項 16】 分散印刷時には、オフラインコマンドを付加して印刷データを生成することを特徴とする請求項 10 または 11 記載のデータ処理方法。

【請求項 17】 前記登録工程により登録された各分割印刷装置に対する印刷ジョブを正常に出力できたかどうかを判定する判定工程を有し、

前記判定工程により各分割印刷装置に対する印刷ジョブを正常に出力できないと判定した場合に、前記作成工程により作成された分散出力レポートをエラー時に結果レポートを出力すべき印刷装置に出力することを特徴とする請求項 10 記載のデータ処理方法。

【請求項 18】 前記出力制御工程により各分割印刷装置に分散出力される印刷ジョブの処理状況を監視して印刷ジョブ処理エラーを検知する検知工程を有し、

前記再構築工程は、前記検知工程による印刷ジョブ処理エラーの検知結果に基づき、前記出力制御工程により各分割印刷装置に分散出力される印刷ジョブを正常出力可能な複数の印刷装置の組み合わせを再構築することを特徴とする請求項 10 記載のデータ処理方法。

【請求項 19】 請求項 10 ~ 18 のいずれか 1 項に記載のデータ処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。